

未来につなぐ 下水道事業プラン

町田市下水道事業経営戦略
今後 10 カ年の事業計画
(2021 年度～2030 年度)



【2021 年度進捗状況・評価】

2022年11月

町田市

はじめに

当市では、長期的な視野に立ち、今後の下水道のあり方に関する基本的な方針を示し、着実に下水道の役割を果たすことを目的として、2012（平成 24）年に「町田市下水道ビジョン」を策定しました。

「町田市下水道ビジョン」では、基本理念に「次世代につなげる良好な水環境を目指して」を掲げ、3つの基本方針「環境に配慮した施設整備を行い、より良い環境づくりを進めます」、「災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます」、「効率的で健全な経営を図り、より良い下水道サービスに取り組みます」を定めています。

また、町田市下水道事業における経営の基本計画である「未来につなぐ下水道事業プラン」において、上記基本方針を実現するため「今後 10 カ年の事業計画」を策定しました。ここでは、各年度における上記事業計画の進捗状況について、振り返りを行っていきます。

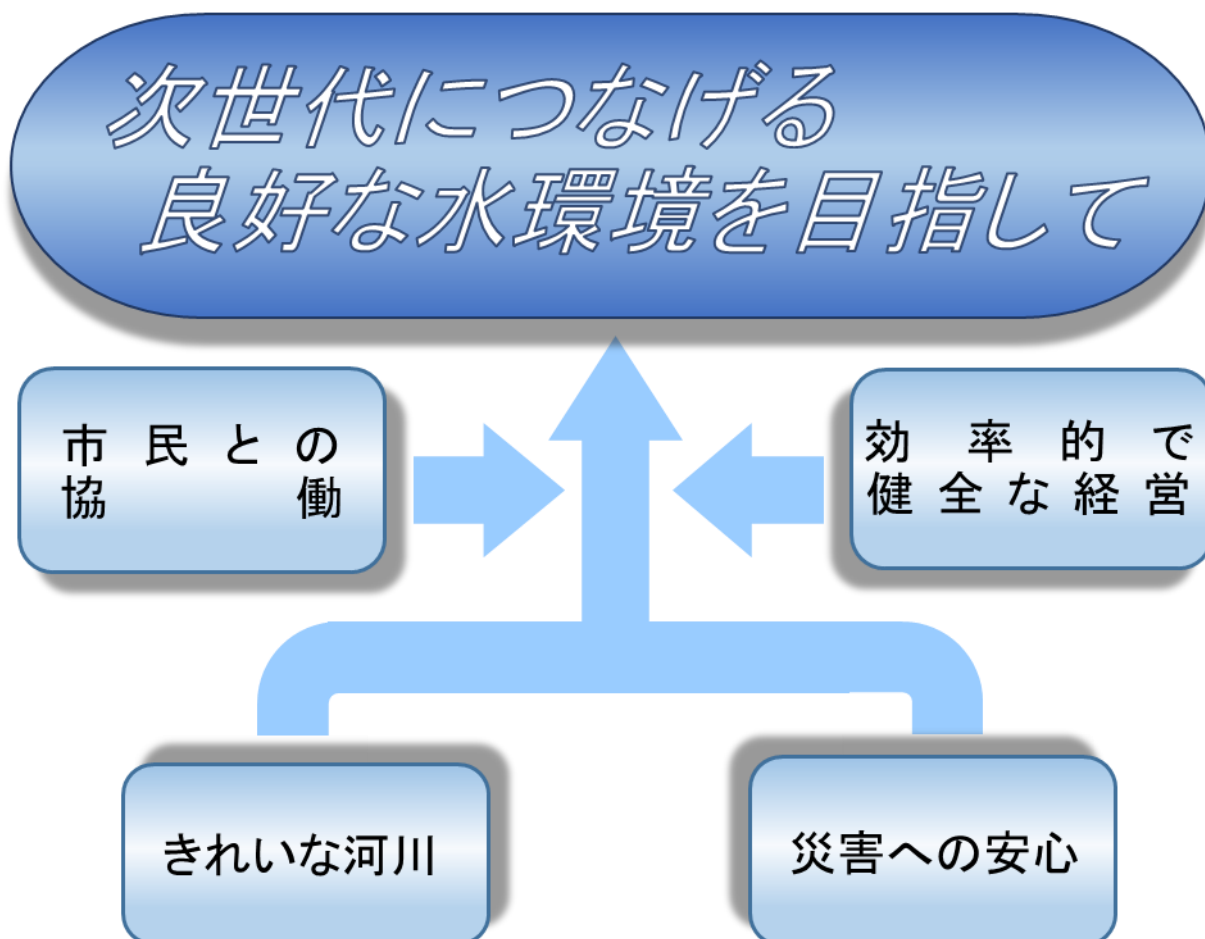


図 1 下水道部の基本理念「町田市下水道ビジョン」（2012（平成 24）年 3 月策定）より一部抜粋

次世代に

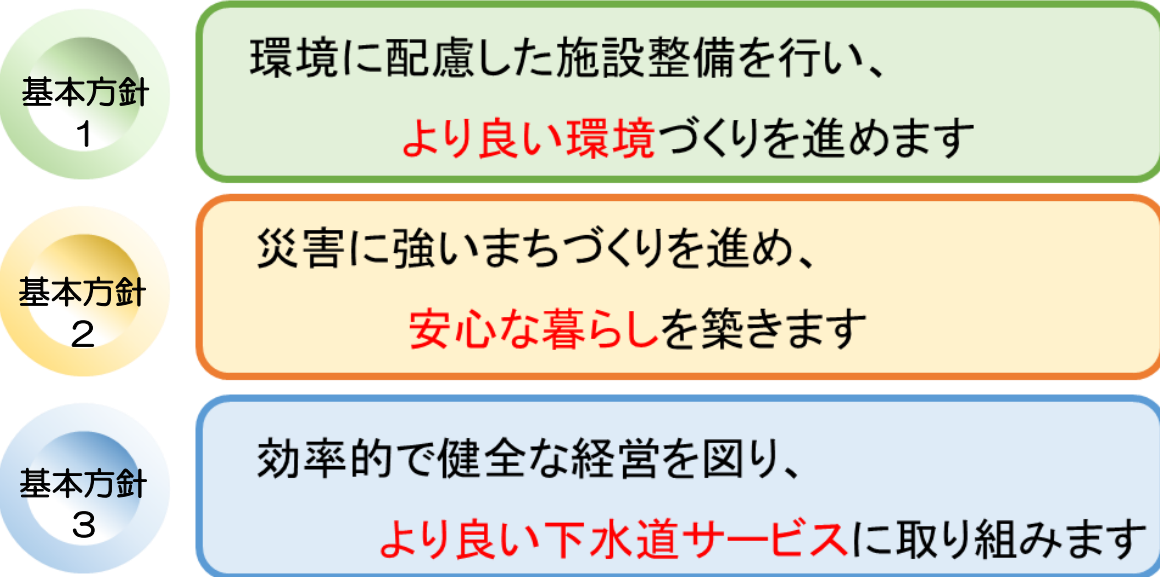


図2 下水道部の基本方針「町田市下水道ビジョン」(2012(平成24)年3月策定)より一部抜粋

環境に配慮した施設整備を行い、より良い環境づくりを進めます

環境意識の高まりにより、環境への負荷の少ない循環型社会の構築が求められています。下水道事業でも、河川等公共用水域の水質向上や地球温暖化対策としての温室ガスの削減、資源の有効利用等の環境配慮が求められています。

これらのことから、環境に配慮した施設整備を行い、より良い環境づくりを進めます。

災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます

ゲリラ豪雨や大規模地震及び老朽化した下水道施設による事故の発生は、生活や都市機能に大きな影響を及ぼします。

そのため、豪雨による浸水や地震による被災への備えと対策を強化し、災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます。

効率的で健全な経営を図り、より良い下水道サービスに取り組みます

これまで進めてきた住環境の改善を目的とする下水道の普及に加え、今後は、下水処理場の機能高度化、浸水対策、施設の維持管理、老朽化した施設の改善更新等に要する経費の増加が予測されます。

限られた財源のもと多くの課題に対応するためには、より効率的な事業展開が必要です。これらを踏まえ、効率的で健全な経営を図り、継続的に下水道事業を推進し、市民の生活を支える下水道のサービス向上に取り組みます。

基本方針1. 環境に配慮した施設設備・より良い環境づくりの推進

施策1-(1) 住環境の改善

目標

污水管と合併処理浄化槽による整備を進め、快適な住環境に寄与します。

目標達成後の姿

生活排水が全て適正に処理されている。

小施策①

污水管整備事業

小施策②

未接続家屋への污水管接続の普及啓発指導

最終的な目標：水洗化率 100%

(2020年度末)

99.2%

(2026年度末)

→ 100%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
99.4%				

2021年度の主な取り組み

- 市街化区域及び市街化調整区域の公共下水道整備計画区域において、污水管を合計 1.7km 整備しました。
- 污水管未接続家屋を対象として郵送等による普及活動を行いました。
- 今後も引き続き、污水管の整備や普及活動を行います。

小施策③

グリーストラップの適正な維持管理方法の周知

10ヶ年の目標：管清掃延長（緊急）

(2030年度末)

0.52 km 削減

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
2.40km削減				

2021年度の主な取り組み

- 2021年度の管清掃延長は 1.68km で、今年度目標の 4.08km を 2.40km 下回りました。
- 油脂が付着している箇所周辺の飲食店66店に訪問・指導を行いました。
- 今後も引き続き、飲食店や事業場への訪問・指導を行います。

施策 1-(2) 河川の水質向上への貢献

目標

汚水の適正処理を進め、広域的な水環境の保全に貢献します。

目標達成後の姿

安心して水辺で水遊びができるようなきれいな河川になっている。

小施策①

下水処理水の水質向上

10ヶ年の目標：高効率散気装置導入率

(2020年度末) (2030年度末)

28.0% → 89%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
28.0%				

2021年度の主な取り組み

- 2021年度は、高効率散気装置の導入予定はありませんでした。
- 水路35kmについて、位置・構造・境界などの基本的な情報を把握するための調査を実施しました。これにより、市内の全水路（全長約197km）について現況調査が完了し、調査結果を反映した管理図書の作成を行いました。
- 今後は基本的な情報を集約した水路台帳を作成し、これを活用して定期的に清掃や草刈りを行う場所や計画的に修繕する箇所を選定するなど、水路の効率的・効果的な維持管理をより一層推進します。
- 今後も引き続き、適切な維持管理の啓発・指導を行っていきます。
- 浄化槽維持管理費補助制度の利用促進のため、2019年以降に三大義務（保守点検・清掃・法定検査）のいずれも未実施のものを対象として、啓発文書を計73件発送しました、

2021年度における浄化槽維持管理費補助制度対象者の制度利用率は、46.4% (710/1,531) です。

施策 1-(3) 地球温暖化対策と資源の循環利用

目標

環境負荷の少ない処理場運営を進め、地球環境の保全と循環型社会へ貢献します。

目標達成後の姿

資源の有効利用が図られ、より環境に配慮した処理場の運営ができています。

小施策①

温室効果ガスの削減

5ヶ年の平均：基準排出量からの
温室効果ガス削減率

(2030 年度末)
25.0%

小施策②

エネルギー・資源の有効利用

(2021 年度末の目標)
再資源化率 98.5%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
①温室効果ガスの削減				
29.0%	/	/	/	/
②エネルギー・資源の有効利用				
99.2%	/	/	/	/

2021 年度の主な取り組み

- 下水処理場では、効率的な機器の運転等により、エネルギー使用を抑制し、温室効果ガス排出量の削減を図っています。エネルギー起源 CO₂ の排出量としては、成瀬クリーンセンターで 17.2%削減、鶴見川クリーンセンターで 16.5%削減しました。
また、成瀬クリーンセンターにおける高温焼却による N₂O 削減量を CO₂ の削減量に換算した場合、CO₂ 排出量を合計で 36.9%削減することができました。
2021 年度の実績としては、両処理場の合計で 29.0%の CO₂ 排出量の削減を達成しました。
- 下水処理場から発生するすべての産業廃棄物について、建設資材などへの再資源化を実施します。
種類ごとに、汚泥焼却灰発生量 823.2 t で 100%、沈砂汚泥発生量 122.9 t で 94.1%、その他廃棄物発生量 27.3 t で 100%、総発生量 973.4 t 中 966.2 t の再資源化を行い、総再資源化率は 99.2%を達成しました。
- 今後も引き続き、省エネ活動と再資源化に努めます。

基本方針2. 災害に強いまちづくりの推進・安心な暮らしの構築

施策2-(1) 浸水対策の推進

- 目標 → 総合的な取り組みにより、浸水被害の軽減を図ります。
- 目標達成後の姿 → 50mm/h の激しい雨が降っても浸水被害が発生しなくなっている。(下水道ビジョンで設定した30年後を想定)

小施策①

浸水対策事業

10ヶ年の目標：整備箇所数

(2030年度末)
22箇所

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
3箇所				

2021年度の主な取り組み

- 計画どおり3箇所で雨水管整備工事が完了しました。
- 境川の河川管理者である神奈川県に対し河川整備の早期実施を要望しました。
- 台風や豪雨前にパトロールを行い、道路側溝等のゴミや落ち葉を除去し、浸水被害の低減を図りました。
- 今後も引き続き、浸水履歴を活用し、緊急性や優先度を見きわめて、雨水管整備を進めます。

小施策②

下水道事業継続計画（水害編）の運用管理及び訓練の実施

10ヶ年の目標：人命を守る

犠牲者ゼロ

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
訓練実施回数 2回				

2021年度の主な取り組み

- 下水部では下水道BCP（水害編）を適切に運用しました。
- 下水道BCP（水害編）に基づく訓練を実施し、下水道部職員の非常時対応の習熟を図りました。
- 訓練実施に伴い下水道BCP（水害編）の見直しについて検証した結果、現状と計画に大きな相違がなかったため、見直しの必要はありませんでした。

施策 2-(2) 地震対策の推進

目標

施設の耐震化と危機管理体制の強化を進め、地震による被害の最小化を図ります。

目標達成後の姿

地震が発生した場合でも速やかに下水道が使用できるようになっている。

小施策①

成瀬クリーンセンターの耐震化

10ヶ年の目標：①耐震化率

(2020年度末)

(2030年度末)

① 64.5% → 81.5%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
64.7%				

2021年度の主な取り組み

- 次亜塩素タンク棟他の耐震補強工事、耐震設計と耐震診断が計画通り完了しました。
- 今後も引き続き、下水処理施設の耐震化を進めます。

小施策②

鶴見川クリーンセンター・鶴川ポンプ場の耐震化

10ヶ年の目標：①鶴見川CCの耐震化率
②鶴川ポンプ場耐震化率

(2020年度末)

(2030年度末)

① 21.9% → 71.2%

(2020年度末)

(2030年度末)

② 0.0% → 100%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
① 21.9%				
② 0.0%				

2021年度の主な取り組み

- 鶴見川クリーンセンターの耐震診断が計画通り完了しました。

小施策③

污水管の耐震化

10ヶ年の目標：污水管の重要な幹線等の耐震化率

(2020年度末) 99.6% → (2021年度末) 100%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
100%				

2021年度の主な取り組み

- 污水管のうち重要な幹線等の耐震化に向け、液状化が予想される箇所におけるマンホールの耐震化工事が完了しました。
- 耐震化率が100%に達したため、2021年度にて目標を達成しました。

小施策④

雨水管の耐震化

10ヶ年の目標：雨水管の重要な幹線等の耐震化率

(2020年度末) 0.0% → (2030年度末) 100%

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
0.0%				

2021年度の主な取り組み

- 緊急輸送路などに布設され、かつ液状化の可能性が高い雨水管の耐震化を実現するため、雨水幹線及び枝線1.1kmの耐震診断が完了しました。
- 今後も引き続き、耐震診断を進めます。(2024年度完了予定)

小施策⑤

避難施設へのマンホールトイレの整備

10ヶ年の目標：マンホールトイレ
整備済み避難施設数

(2020年度末)
43/71 施設
(2025年度末)
→ 71/71 施設

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
49/71 施設				

2021年度の主な取り組み

- 6つの避難施設にマンホールトイレを整備しました。
(鶴川第三小学校、鶴川第二中学校、金井小学校、町田第三中学校、山崎小学校、小山田南小学校)
- 今後も引き続き、整備を行います。

小施策⑥

下水道事業継続計画（地震編）の運用管理及び訓練の実施

10ヶ年の目標：訓練の実施と必要に応じた計画の見直し実施

(年度毎の目標)
毎年度訓練を実施するとともに、その結果を検証し、必要に応じて計画の見直しを行う。

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
訓練実施回数 2回				

2021年度の主な取り組み

- 下水道部では下水道 BCP（地震編）を適切に運用しました。
- 下水道 BCP（地震編）に基づく訓練を実施し、下水道部職員の非常時対応の習熟を図りました。
- 訓練実施に伴い下水道 BCP（地震編）の見直しについて検証した結果、現状と計画に大きな相違がなかったため、2021年度は見直しの必要はありませんでした。

基本方針3 経営の効率化及び健全化・より良い下水道サービスの導入

施策3-(1) 効率的・効果的な維持管理の推進

目標

予防保全型の維持管理を進め、修繕費用の抑制を実現するとともに、安定的な機能確保を図ります。

目標達成後の姿

効率化を図りながら、安定的に下水道が使用できるようになっている。

小施策①

状態監視保全の維持管理

10ヶ年の目標：①下水処理施設の詳細調査件数
②下水道管の点検・調査延長

(2030年度末)

- ① 100件以上
- ② 542km

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
① 15件				
② 54 km				

2021年度の主な取り組み

- 計画どおり、下水処理施設の設備のうち状態監視保全の対象となる機器15件の詳細調査を実施しました。
- 下水道管について、54kmの点検・調査を実施し、劣化状況を把握しました。
- 今後も引き続き点検・調査を行い、予防保全型の維持管理を推進します。

小施策②

腐食環境下にある下水道管の点検

10ヶ年の目標：点検箇所数

(2030年度末)
294箇所

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
25箇所				

2021年度の主な取り組み

- 計画どおり、現場での25か所の点検を行いました。結果として、腐食による管渠の不具合はありませんでした。
- 引き続き点検を実施し、機能の維持に努めます。

小施策③

汚水管への浸入水対策

10ヶ年の目標：調査地域数

(2030年度末)
19地域

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1地域				

2021年度の主な取り組み

- 原因究明のため汚水マンホール内に水位計や暗視カメラを設置し、降雨時の汚水量や水位等の調査を行い、浸入水の多い地域を絞り込むことができました。
- 引き続き詳細調査を行い、改善計画の策定を行います。

施策 3-(2) 計画的な改築更新

目標

膨大な下水道施設の老朽化に対応していくため、計画的な改築更新を行います。

目標達成後の姿

効率化及び健全化により経営、持続的な下水道事業を実現します。

小施策①

下水処理場・ポンプ場の改築更新

小施策②

管渠の改築更新

10ヶ年の目標：「町田市ストックマネジメント計画」に基づく改築更新の実施

(2030年度末)

- ①下水処理場・ポンプ場の改築更新完了
- ②汚水雨水計56kmの改築工事完了

進捗状況				
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
①下水処理場・ポンプ場の改築更新				
2件工事完了 (予定工事3件)	/	/	/	/
②管渠の改築更新				
約28km 詳細調査完了	/	/	/	/

2021年度の主な取り組み

- 成瀬クリーンセンターでは、2020年度からの繰越工事1件を含む2工事（屋根防水などの建設工事及び監視制御設備の電気設備工事）が完了しました。
- 水処理設備工事の工事も予定されていましたが、日本下水道事業団が行う契約手続で入札不調があり契約時期に遅れが生じたため、2022年度に繰越となりました。
- 下水道管路の詳細調査を約28km完了しました。
- 引き続き、「町田市ストックマネジメント計画」に基づく改築更新を実施していきます。

